

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	排水設備事業	所管	下水道部 下水道維持課
			TEL 2998-9211

事業の目的 (何の為に 行うか)	水洗化世帯の拡大により生活環境の改善と河川や海域などの公共用水域の水質保全を確保する。排水設備を設置するにあたり、宅地内排水設備及び公共下水道を保護するため、下水道法令等を満たしているか確認する。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	下水道処理区域内の未水洗家屋所有者に対して、水洗化を促進する	対象とした数	3,561	件
		実際に 利用した数	542	件

活動の内容	(何を したか)	①戸別訪問して、水洗化の普及促進及び家屋等の現状調査、未水洗の理由を把握する。 ②水洗便所改造資金融資の斡旋をする。 ③広報等に水洗化の普及促進のお願いを掲載する。 ④排水設備の設計・施工内容を審査して下水道法、所沢市下水道条例等の基準に適合した設備とする。							
	活動実績	項目名	普及件数	550	項目名	水洗件数	542	項目名	水洗化率
			----- 単位 件			----- 単位 件			----- 単位 %

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	9,747	8,002	102,318	301.8

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	水洗化世帯	処理区域内の水洗化世帯	123000 ----- 単位	125913 ----- 単位	102.4 ----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕 終了				
		予算	現状どおり 増額 減額 終了			

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	080300	TEL	2998-9211
事業コード	排水設備事業					
080302						
開始年度		昭和 38 年度	—	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令
	分野別計画・指針				
	関連・類似事業	第1期・第2期市街化調整区域汚水管渠整備事業(下水道建設課)下水道使用料徴収事業(下水道総務課)			
	総計画の体系	政策	第2章 安全・安心で快適な住みよいまち	施策	6節 下水道
		中柱	1 計画区域の整備	小柱	(1) 公共下水道の整備
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 38 位				
	・実施計画における位置づけ… H19 *** H20 ***				
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ				
	コード	3231	公営企業の経営健全化	コード	
	事業開始の背景	昭和32年度から下水道事業に着手し、昭和38年度から公共下水道が供用開始されたことにより、この事業が始まった。			

③事業の内容	目的(何のために行か、具体的に)						
	水洗化世帯の拡大により生活環境の改善と河川や海域などの公共用水域の水質保全を確保する。排水設備を設置するにあたり、宅内排水設備及び公共下水道を保護するため、下水道法令等を満たしているか確認する。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方			
	下水道処理区域内の未水洗化家屋所有者に対して、水洗化を促進する			公共下水道使用による水洗便所に改造した件数			
	対象数	単位	平成 18 年度	3,560	件	平成 19 年度	3,561
		平成 19 年度	3,561	件	平成 18 年度	566	件
		平成 19 年度	542	件	平成 19 年度	542	件
	事業の具体的な内容及び実施方法						
	①戸別訪問して、水洗化の普及促進及び家屋等の現状調査、未水洗の理由を把握する。 ②水洗便所改造資金融資の斡旋をする。 ③広報等に水洗化の普及促進のお願いを掲載する。 ④排水設備の設計・施工内容を審査して下水道法、所沢市下水道条例等の基準に適合した設備とする。						

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)		≪ 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )		
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	平成19年度中に改善した点			
	水洗化促進用パネルなどを市役所1Fホールでの市民団体による催しものに展示させてもらい、市民へのPRに努めた。			

⑤経費	《会計種別》	特別会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		10,546	9,747	6,074
	決算 (見込み含む)		8,558	8,002	
	(嘱託職員) (臨時職員)	( 人 ) ( 0.90 人 )	( 人 ) ( 0.90 人 )		
	正規職員人件費	10.04 人	92,368	10.04 人	94,316
	公債費				
	事業費合計		100,926	102,318	
	財源内訳	一般財源	100,926	102,318	6,074
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)	298.7	301.8		
	利用数一単位あたり(単位:円)	178,314.5	188,778.2		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	普及件数	未水洗化家屋等に水洗化を普及促進した件数	件	2020	550	1200	
	水洗件数	水洗便所に改造した件数	件	566	542	500	
	水洗化率	水洗化人口÷処理区域内人口	%	97.1	97.5	97.6	
	成果分析	水洗化世帯	処理区域内の水洗化世帯		目標値	121450	123000
				実績	122996	125913	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2
			%	達成率	101.3	102.4	1

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 直営 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業 <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	明らかとなった課題と平成20年度の取組み 水洗化促進の文書送付や、戸別訪問により普及活動に努める。	見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
平成20年度における目標設定	処理区域拡大(18.7ha)地域の未水洗化家屋に普及活動を行う。	1200件の普及活動を行う。	H21.3末	
	1200件のうち、水洗化改造件数を500件(約42%)の見込み	水洗化率を97.6%に向上させる。	H21.3末	
	平成21年度における事業の方向性			
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )			
	<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由	下水道法第10条に基づく排水設備の設置や、公共用水域の水質を保全する観点からも事業の継続は必要である。			
	評価日	平成20年6月4日	記入者職氏名	下水道維持課 主幹 吉澤 正一

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性					
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 終了					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由 評価日						
⑨個別計画における方向性	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	評価理由 評価日	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
							<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	121
	施策の体系	1-2水質汚濁の防止	施策の方向	1-2-1生活排水・下水道整備等の浄化対策の推進
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
	主要課題			
	施策の方向			